

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

1 事業名： ～森林を未来の子どもに引き継いでいくために～

2 実施団体： 津山地区木材組合

3 担当課： 森林企画課

4 事業概要

県下の若い世代や親子連れを対象とした、山祭り（フェス）を開催し、木育講演、伐採見学を通じて、森林の公益的機能や、SDGsにおける貢献や役割などについて学んで貰う。また、森林の中で様々な遊びを体験し「山で働く」こと＋（プラス）「山で遊ぶ」ことの魅力を伝え、就労・移住の促進を図ることを目的とする。

5 実施内容

- (1) 学識経験者による、森林のSDGsに果たす役割や公益的機能についての講演
- (2) 林業を応援する地元出身のアーティスト「J-REXXX」によるライブ
- (3) 高性能林業機械を使った伐採のデモンストレーション
- (4) 森林の循環利用を説明した子ども向けのマンガ冊子を配布
- (5) マウンテンバイク・ツリークライミングなど体験コーナー
- (6) 枝木キーホルダー、マイ箸づくり・キットを利用したDIY体験
- (7) 年齢別に分かれ丸太伐り競争
- (8) 美作材の木工品の販売



オープニング風景



木育講演



ツリークライミング



伐採デモンストレーション



MY箸作り



マウンテンバイク



丸太切り競争



枝木キーホルダー



DIY体験



J-REXXXのライブ

6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

事業の対象である次世代の若者や親子連れ約750名を集客し、木育講演や子ども向けの漫画を活用して、森林の持つ働きや重要性を伝えることが出来た。

また、高性能林業機械による伐採デモンストレーションで林業の機械化を紹介し、同時に山での遊びを体験して貰い、山で働く＋遊ぶことや、田舎暮らしに興味を持って貰えた。これらのことは全国植樹の目的「森林・緑に対する国民の理解を深める」に繋がったと思う。

(2) 今後の課題

多くの若者が、アンケート結果から田舎暮らしに高い関心を持っていることがわかった。また、山での遊び(特にマウンテンバイク)は他県からの参加者も多く想像以上の集客であった。

それらのことを考えると、今後、地域と一体となり(マウンテンバイクの大会開催・空き家をシェアハウスにするなど)若者や子ども連れが働きながら楽しめ、子育てしやすい環境をつくる事が出来れば、田舎暮らしに興味のある若者や、マウンテンバイクの愛好家などに、趣味と仕事、また子育ての場所として、田舎や林業が選ばれる可能性が出てくるのではないかとと思われる。

7 県民局と連携した効果及び課題

担当者と密に連絡をとりながら、企画や、PRについての指導や助言を頂き大変助かった。

またイベント当日、県民局長には来賓挨拶を頂き、主催者と一体となって会場を盛り上げて頂けたことに深く感謝を致します。

今後も木材業界が抱える問題に対し、県民局には様々な施策面で情報を頂き、ご指導を賜りたいと存じます。